

利尻地域マリンビジョン

～水産資源・地域資源を活かした「豊かな海づくり・地域づくり」～

(平成21年2月策定)

- ・対象地域：利尻町
- ・地域人口：2,951人(平成17年国勢調査)
- ・漁港：仙法志漁港(4種)、御崎漁港(1種)
新湊漁港(栄浜)(1種)、蘭泊漁港(1種)
- ・漁業就業者：372人(平成17年国勢調査)

- 拠点漁港のタイプ
- 陸揚げ・流通拠点
 - 増養殖支援拠点
 - 避難拠点

拠点漁港



第4種仙法志漁港



岸壁作業

地域の資源等

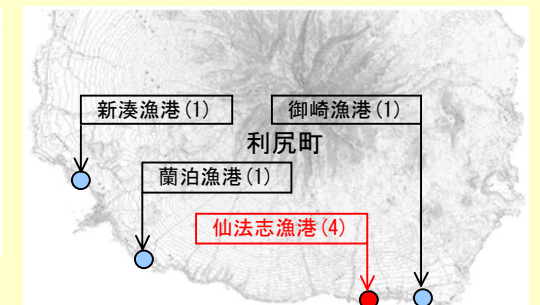


利尻産エゾバフンウニ



利尻養殖コンブの陸揚げ

【位置図】



地域の目指す姿

■ビジョンの特徴

沿岸漁業・磯付漁業の振興やつくり育てる漁業の推進、水産物流通の効率化と一貫した品質管理による利尻ブランドの確立や観光産業との連携強化を目指す。

(1) 沿岸漁業や栽培漁業の振興

魚類の資源増大と資源保護のため大型魚礁の設置、天然利尻コンブ増産のため囲い礁(嵩上げ礁)の設置、ウニ、ナマコ等人工採苗による安定的な種苗放流と漁場管理、コンブ養殖業の更なる推進を図る。

(2) 水産物の流通と品質管理の推進

水産物の品質向上のため滅菌地下水供給装置の導入と水産物衛生管理マニュアルの徹底、共同加工施設(HACCP)の建設による販路拡大の推進を図る。

(3) 水産資源による地域活性化の振興

NPO法人利尻ふる里・島づくりセンターを設立し、地域水産物の未利用資源を活用した海藻おしばを中心に、二つの施設(カフェ、石蔵文化ぎやらりー)からなる“島の駅”「海藻の里・利尻」をオープンさせ、利尻の独自文化との触れ合いや人との交流を通じて、通過型観光から体験・滞在型観光への転換を図る。

現状と課題

現状	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業就業者の減少と高齢化傾向 ○漁業資源の減少と価格の低迷
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○資源管理とつくり育てる漁業への取組強化 ○水産物流通の効率化と品質管理 ○水産物の利尻ブランドの確立 ○水産業と観光産業との連携強化

地域資源(特徴)

- 豊かな漁場が近接していることから多種多様な水産資源による漁業生産基地
【利尻コンブ、エゾバフンウニ、ホッケ、タコ、ナマコ等】
- 豊かな自然景観
【利尻山、利尻礼文サロベツ国立公園】
- 地域資源を活用した商品開発
【海藻おしば、利尻湧水を使用した地ビール、利尻コンブを使用した食品開発】

地域マリンビジョン協議会

■マリンビジョン協議会メンバー

- ・学識経験者 利尻町港湾漁港審議会会長
" 仙法志地区委員
- ・漁業関係者 利尻漁業協同組合組合長
" 仙法志地区代表理事
" " 女性部長
" " 青年部長
仙法志漁港利用者小型部会長
" " 養殖部会長
- ・観光関係者 利尻町観光協会会長
" 事務局長
NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター代表
- ・自治会関係者 仙法志地区連合自治会会長
仙法志政治地区自治会長
- ・行政関係者 利尻町副町長
" 産業建設課長

■事務局(利尻町・利尻漁協仙法志支所)

漁港の将来像

- ①水産物流通の効率化と一貫した品質管理
(屋根付き岸壁、排水処理施設)
- ②安全で快適な漁業地域の形成
(外郭施設、防風柵、老朽岸壁の改良)
- ③生産労働の効率化・近代化、担い手支援
(防波堤、強風対策、老朽施設の改良)

ビジョン実現のための主な取組み

- 仙法志堆周りに大型魚礁の設置、未利用漁場(砂地)に囲い礁(嵩上礁)を設置
- ウニ・ナマコ人工種苗の放流、ウニの害敵(ヒトデ・カニ)駆除、駆除船(SKフープ)による雑海藻の駆除の実施
- 滅菌地下水供給装置導入とウニ加工衛生管理マニュアルの徹底、共同加工施設(HACCP対応)の建設計画
- “島の駅”「海藻の里・利尻」(カフェ、石蔵文化ぎやらりー)を活用し、海藻おしばを中心に、通過型観光から、体験・滞在型観光への転換
- 町内中学生にウニ人工種苗生産や放流事業の体験学習の実施